

# 伝統芸能から人間ドラマを楽しむ 特別短期講座

テーマ：第5回『俊寛』(能・歌舞伎)～運命の人

日時：2023年9月13日 9:45～11:45

講師：北見 真智子 先生 (大阪音楽大学講師・音楽学)



## 能の題材

室町時代以前の昔の事柄・歴史上の事件と人物・神話・伝説など、人間の運命や情念を描いている

和歌	例	黒塚
伊勢物語	例	井筒
源氏物語	例	葵上
平家物語	例	中度
神社縁起	例	海士
神話	例	玉井
中国故事伝説	例	楊貴妃
伝承・説話	例	橋弁慶

## 能『俊寛』

作者：不明

素材：平家物語 巻一(鹿の谷)巻二(西光被斬)(大納言死去)を背景とし、巻三(赦文)(足摺)の話をもとに

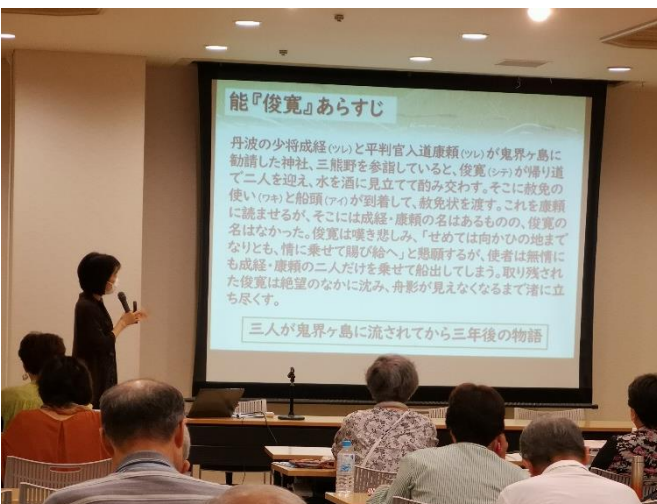
登場人物：シテ(俊寛僧都)

ツレ(平判官康頼)(丹波少将成経)

ワキ(赦免使)

アイ(船頭)

## 能『俊寛』あらすじ



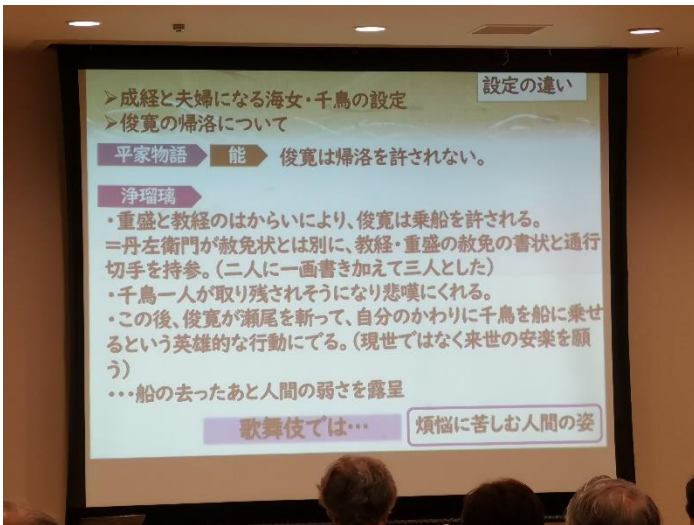
平家討伐の陰謀が露見して、丹波少将成経(ツレ)、平判官康頼(ツレ)と法勝寺入道俊寛(シテ)は、九州の鬼界島に流罪の身となっている。

鬼界島では康頼と成経が島に流された身の上を嘆いる。そこに俊寛が現れ中身は水であったが酒宴の真似事をして心を和ませていた。

そこへ都からの赦免使が到着して、赦免状を差し出す。康頼(または成経)が読み上げると、赦免状には、「中宮御産のため、鬼界島の流人のうち、成経と康頼を赦免する」と書かれてあった。赦免使は、「都で聞いた話でも、康頼と成経の二人をお連れして、俊寛は島に残せ」といわ

れたことを告げる。

康頼と成経を乗せた船は鬼界島から出帆するが、一人島に残される俊寛は船の艦綱(とまずな)に取り付いて、「せめて対岸にでもいいから乗せて行ってほしい」と懇願する。しかし赦免使は艦綱を切って、船を出した。手を合わせて懇願していた俊寛は、渚で船を追ったが、船は段々遠ざかって小さくなるばかりである。こうして俊寛一人だけが島に残されたのである。



### 能・歌舞伎—設定の違い

能の「俊寛」は、一人だけ島に取り残される俊寛の悲しみと怒り、孤独の姿を描きます。

歌舞伎の「俊寛」は、近松門左衛門の浄瑠璃「平家女護島」二段目の歌舞伎化。能を大胆に脚色、翻案し、能には出ない丹左衛門尉・瀬尾太郎という善悪二人の赦免使、成経が島で契った海女の千鳥を登場させ、成経・千鳥の親がわりとなった俊寛は乗船を許されるが、千鳥の乗船を許さない瀬尾を殺し、千鳥の代わりに自分が島に残る決意をします。

### 孤独の悲しみを描く能

観世流『俊寛』より (シテ:俊寛僧都/ツレ:平判官康頼/ワキ:赦免使)

いと、勇むら、いかにこの島に  
流され、人の居るか。都より赦免状  
を持ち、糸りて、急いで、御拜見  
の、あら、ありがたや、聴て、康頼  
の、覽、何々、中宮、康頼の、御祈り  
の、為に、非常の、大、赦行はる、により。  
國々の、流人、赦免ある、中にも、鬼界が  
島の、流人、乃、中、丹波の、少將、成経。  
平判官、入道、康頼、二人、赦免ある  
處なり、何とて、俊寛、は、讀み、落し  
給ふぞ、御名、あら、は、こと、赦免  
状の、面、を、覽、い、ふ、て、ハ、筆、者、の、  
誤り、か、い、や、某、都、にて、承り、ひ、も、康頼  
成経、二人、ハ、御供、申せ、俊寛、一人、を、は  
この、島に、残し、申せ、この、御事、にて、い

### 家族愛、人情に訴える歌舞伎

左の本を受講者全員で読み上げる  
(流石に皆様、大きな声で読み上げていました)



講義風景

(担当:千種)